

株式会社ニューフレアテクノロジー サイトレポート情報

所在地（本社）：神奈川県横浜市磯子区新杉田8番1

【#200棟】東芝横浜事業所内#200棟の一部

建屋面積（NFT専有部分）：18,710m²

設立：2013年10月（本社移転）

【#70地区】東芝横浜事業所内#70地区

敷地面積：19,965m²、建屋面積：9,790m²、緑化率：21.35%

設立：2007年3月

当社正規従業員数：799名（2023年3月末現在）

※NFT;ニューフレアテクノロジー略称

主要製品：マスク描画装置、マスク検査装置、エピタキシャル成長装置

ISO14001認証取得：1996年2月、最新更新年月：2022年8月

（ISO認証番号：EC98J2014/東芝デバイス&ストレージ株式会社統合認証）



本社（#200棟）



本社#70地区

ごあいさつ

株式会社ニューフレアテクノロジーは、半導体デバイスの微細化・高機能化に必要な電子ビームマスク描画装置やマスク検査装置、エピタキシャル成長装置の開発、製造、販売を手掛けております。

半導体製造装置を通じて、豊かな価値を創造し、社会の発展に貢献できるよう努めてまいります。



環境保全責任者 高松 潤

2022年度の環境の主な取組み

☆環境配慮型製品の創出・社会への提供
製品含有化学物質管理の推進

☆地球温暖化防止の推進

CO2排出量削減

目標：60.6t-CO2相当の省エネ施策

実績：84.5t-CO2

（目標達成）

グリーンルーム空調適正化等による、消費電力量削減の推進

☆資源の有効利用促進

廃棄物排出量の抑制

目標：産業廃棄物総排出量 ≤498t/年 実績：431t/年

（目標達成）

☆環境リスクの低減

異常・緊急事態対応訓練実施によるリスク低減

☆社会貢献活動および環境コミュニケーションの推進

社会貢献活動の活性化（社外ボランティア活動への参加）

ボランティア活動への参加、環境情報の発信（HP情報）等

☆環境意識の向上

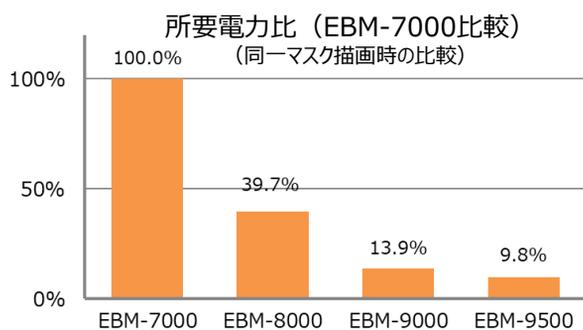
環境関連月間行事に合わせた社内啓蒙実施、環境教育受講100%

製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介

NFTでは製品アセスメント結果等を元に新製品の環境負荷の低減を積極的に進めています。

主力製品のEBM（電子ビームマスク描画装置）では、マスク描画時の消費電力※を世代ごとに順次削減しています。従来に比べて環境負荷を低減した製品の企画・開発を進めることで、お客様の製造段階での環境負荷低減にも寄与してまいります。

※ 同一条件のマスクを描画する際に消費する電力



持続可能な開発目標(SDGs)達成に向けて

SDGsとは国際社会が持続可能な開発を実現するための重要な指針である17の目標です。東芝デバイス&ストレージ株式会社グループでは、SDGsの目標の多くが環境経営と密接な関係にあり、環境経営の推進によって達成に寄与すると考えています。



株式会社 ニューフレアテクノロジー 環境方針

－ 理念 －

東芝 デバイス&ストレージ株式会社グループは、東芝グループの経営理念である「人と、地球の、明日のために。」に基づき、豊かな価値の創造と地球との共生を図ります。また、脱炭素社会、循環型社会、自然共生社会を目指した環境経営により、持続可能な社会の実現に貢献し、新しい未来を始動させます。

－ 方針 －

株式会社ニューフレアテクノロジーは、東芝 デバイス&ストレージ株式会社グループの環境方針に基づき、また当社の経営理念に従い環境への取組みを企業経営の最重要課題の一つと位置づけます。当社は、半導体デバイスの微細化・高機能化に必要な半導体製造装置の設計・製造における環境負荷の低減を経営と調和させながら積極的に行います。そして、開発・調達・生産・販売・回収・サービスの全ての事業プロセスにおいても、ライフサイクルの視点に立って環境に配慮した企業活動を実践し、効率に優れた半導体製造装置の提供とそれによって製造された半導体製品の省エネ・省資源により社会に貢献することを目指します。

1. 倫理観と継続性

- 1) 法令、当社が同意した業界などの指針および自主基準など当社の環境側面に適用可能な法的及びその他の要求事項を遵守します。
- 2) 環境活動レベル及び環境パフォーマンスの向上を図るため、監査の実施や活動のレビューにより環境マネジメントシステムの継続的な改善を行い、環境経営の効果的な運用を推進します。

2. 実行

企業活動の実行においては、全ての事業プロセスにおける環境側面について、生物多様性を含む環境への影響を評価し、環境負荷の低減、汚染の予防などに関する環境目標を設定して、積極的な環境施策を展開します。

- 1) 効率に優れた半導体製造装置の創出・社会への提供を通じ、社会の環境負荷低減に取り組みます。
- 2) 気候変動緩和のため、事業活動に伴い発生する温室効果ガスの削減に取り組みます。
- 3) 循環経済への対応のため、事業活動に伴い投入する資源の最小化と 3R を推進し、資源の有効活用に取り組みます。
- 4) 化学物質の管理向上により、化学物質取扱いに伴う環境リスクの低減を図ります。
- 5) 自然との共生を図るため、生物多様性の維持・回復に取り組みます。
- 6) ステークホルダーとの相互理解促進のため、情報発信や、地域・社会との連携に取り組みます。
- 7) 環境に配慮した企業活動の実践のため、本組織で働くすべての人々の環境意識向上に取り組みます。

この環境方針は、社内外に開示するとともに本組織で働くすべての人々に方針を周知し、方針に沿った企業活動を推進します。

2021年6月24日

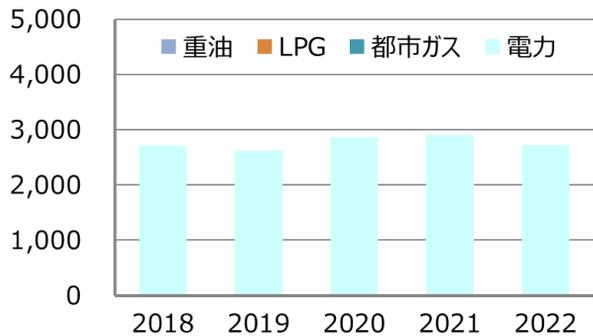
株式会社ニューフレアテクノロジー

代表取締役社長

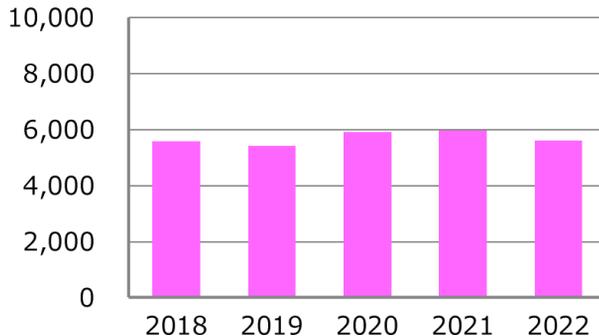
環境保全責任者

高松 潤

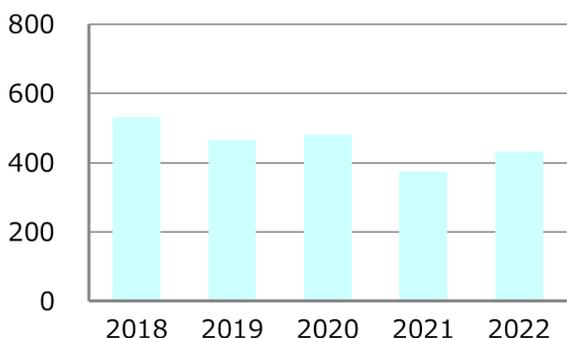
エネルギー使用量 (単位: kL)



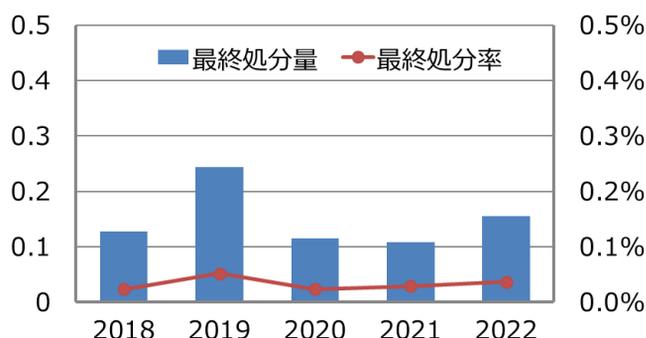
CO₂排出量 (単位: トン-CO₂)



廃棄物総発生量 (単位: トン)

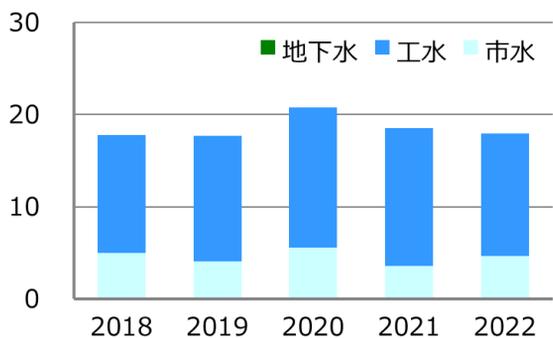


廃棄物最終処分量と最終処分率 (単位: トン, %)

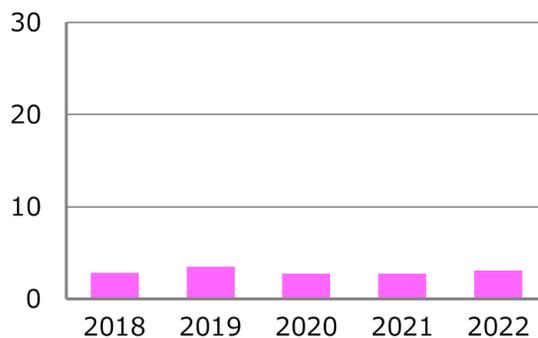


主な廃棄物名: 廃アルカリ、廃酸、廃プラスチック、金属くず類 など

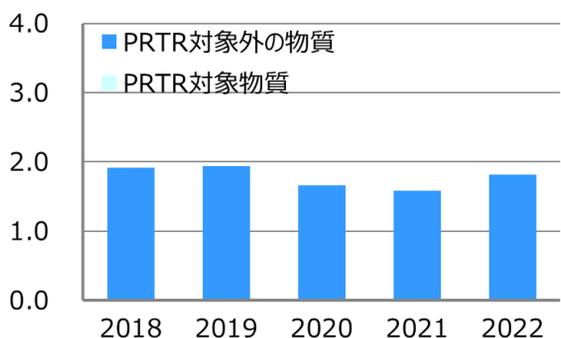
水の使用量 (単位: 千m³)



排水量 (単位: 千m³)



化学物質削減対象物質の取扱量 (トン)



化学物質削減対象物質の排出量 (トン)



主な化学物質: エチルアルコール、硫酸など

＜社会貢献活動＞

行政等が主催する社会貢献・環境保全関連行事へ参加・協賛しています。

◆こども「エコ活。」大作戦!

実施日 : 2022年度

実施内容 : 横浜市が主催する児童を対象とした環境活動を支援しました。

この活動を通じて国連の食料支援機関「国連WFP」が行っているフィリピン・ミンダナオ島での植樹活動に協賛しました。

◆障がい者支援

実施日 : 2022年度

実施内容 : 一般就労を目指す障がい者の就労支援を行なう団体に事業所周辺の清掃業務を委託し、団体の活動を支援しています。

◆富士山ごみ減量大作戦 (富士山ネットワーク)

実施日 : 2022年度は、コロナ禍により活動を自粛しました。

実施内容 : - ※2023年度より活動再開

◆富士山植樹祭 (富士山ナショナルトラスト)

実施日 : 2022年度は、コロナ禍により活動を自粛しました。

実施内容 : - ※2023年度より活動再開予定

◆国際海岸クリーンアップ (JEAN)

実施日 : 2022年度は、コロナ禍により活動を自粛しました。

実施内容 : - ※2023年度より活動再開予定



2023/6月 富士山ごみ減量大作戦



2019/4月 富士山植樹祭



2019/9月 海岸クリーンアップ

＜東芝グループ環境活動への参加＞

東芝グループまたは東芝横浜事業所が実施する環境活動に積極的に参加しています。

◆東芝横浜事業所環境月間他月間行事

実施日 : 2022年6月 (環境月間)、2022年10月 (3R推進月間)、2023年2月 (省エネ月間)

実施内容 : 月間行事への参加

◆東芝横浜事業所環境美化ボランティア

実施日 : 2022年度は、コロナ禍により活動を自粛しました。

実施内容 : - ※2023年度より活動再開予定

参加人数 : -



2019年度
横浜事業所環境美化ボランティア

生物多様性の保全への取り組み

＜クゲヌマランの保全＞

#70地区南側敷地内に自生しているクゲヌマランを保全しています。
『クゲヌマランを守る事 = 生物多様性の保全』と言う事だけではなく、自生している環境が貴重である事を認識し、見守ってまいります。
2023年は、昨年より39株少ない205株を確認できました。

(クゲヌマラン)

- ・環境省レッドリスト：絶滅危惧Ⅱ類
- ・神奈川県レッドデータブック：絶滅危惧Ⅱ類

